

正しくデータを計測・表示するために

- 数日程度、Solar Link ZEROに電源が供給されなかった場合は日時の設定が必要です。その際、画面確認用にPCモニター等とUSB接続の有線マウスが必要となります。
- Solar Link ZERO本体の電源や変換器の電源は、メンテナンス操作を行う時以外は切らないでください。データの記録や集計が行えなくなります。また、計測中はSolar Link ZEROに専用USBメモリが挿入されている事を確認してください。専用USBメモリが挿入されていないとデータは記録されません。
- 専用USBメモリ内のデータバックアップを定期的に取り得ることを推奨します。
- 定期的な掃除を推奨します。埃などが溜まると機器類が故障する恐れがあります。

停電があった場合、Solar Link ZERO は日報や月報のデータを記録できません。計画停電など、事前に停電がわかっている場合は Solar Link ZEROを終了してください。

1. ZERO本体の起動・停止と終了

■ ZEROの起動

専用USBメモリの挿入を確認し、専用ACアダプターで電源を供給すると起動します。
※ ZEROには電源スイッチがありません。電源の入り切りは、ZERO本体基板保護の為に、ZERO本体側のACアダプターのプラグではなく、ACコンセント側の抜き差しをお奨めします。

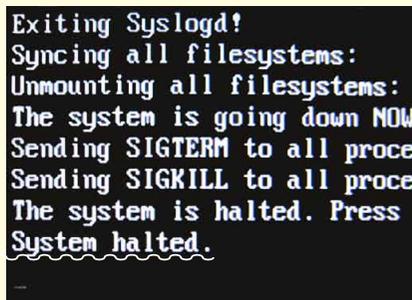
■ 停止と終了

Solar Link ZERO本体にあるタクトスイッチを6秒以上押した後、離します。

- ※ タクトスイッチの押下時間と動作
- 3秒未満 ……………画面切替
 - 3秒以上6秒未満 ……再起動
 - 6秒以上 ……………停止

ディスプレイ上で現れた文字の最後の行に「System halted.」と表示されていれば停止状態です。

- この確認後にACアダプターを抜いてZEROを終了します。
※ この状態で専用USBメモリの取り外しが出来ます。
※ Solar Link ZEROを起動させる場合はACアダプターを挿します。



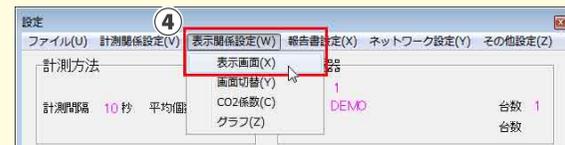
2. 画面の変更方法 (※Windowsパソコンが必要です)

表示させたい画面ファイル (写真または画像) を用意します。
データ仕様: JPEG形式・800 x 600 pixel・ファイルサイズ 1MB以下
ファイル名: 半角英数字に限る 拡張子 [.jpg] は小文字

- ① ZERO本体を停止・終了し、ZERO本体から専用USBメモリを抜き、Windowsパソコンに挿入します。※ZERO本体を終了する前に、専用USBメモリを取り外さないで下さい。

- ② 専用USBメモリ内に画面ファイルをコピーします。

- ③ 専用USBメモリ内の【conf】または【conf.exe】プログラムをダブルクリックして「設定」を表示します。



- ④ 【表示関係設定】メニューの【表示画面】をクリックします。

- ⑤ 【画面数】で表示させたい枚数 (1~5枚) を選択し、【NO.】で数字を選びます。【参照】から表示させたい画面ファイルを選択し、【OK】をクリックして表示画面を閉じます。



- ⑥ 【表示関係設定】メニューの【画面切替】をクリックします。

- ⑦ 【表示パターン】の【任意設定】をクリックします。

- ⑧ 表示列の画面を選択し、それぞれ切替間隔を設定します。

- ⑨ 【OK】をクリックして画面を閉じます。

- ⑩ 【ファイル】メニューの【終了】をクリックし、設定プログラムを終了します。

- ⑪ パソコンから正しい手順で専用USBメモリを抜き、ZERO本体に挿入してZEROを起動します。

- ⑫ 起動後に計測画面等の表示内容を確認します。



3. 計測データの確認 (表示とバックアップ)

■ ZERO本体での画面での確認

本体のタクトスイッチを1回押す毎に、今年度の発電量 (毎月) の画面に切り替わります。もう一度押すと昨年度の発電量 (毎月) の画面に切り替わります。もう一度押すと計測画面に戻ります。

■ 専用USBメモリの計測データの確認 (※Windowsパソコンが必要です)

ZERO本体を停止・終了し、ZERO本体から専用USBメモリを抜き、Windowsパソコンに挿入します。※ZERO本体を終了する前に、専用USBメモリを取り外さないで下さい。

挿入した専用USBメモリ内の【dat】フォルダを開きます。
フォルダ内に下記の種類のデータファイルがあることを確認します。(2012年9月30日の例)

ファイル名	タイプ	データ単位
120930.csv	詳細	1分毎
d120930.csv	日報	1時間毎
m1209.csv	月報	1日毎
y2012.csv	年報	1ヶ月毎 (1月～12月)
report2012.csv	年度報	1ヶ月毎 (4月～翌年3月)

必要なファイルをコピーしてパソコン本体へ保存します。
※専用USB内の「dat」フォルダを切り取ると、「データフォルダが認識できません。」と表示されZEROの計測が正しく行えません。
※コピーしたデータは「メモ帳」や「Microsoft Excel」から見ることができます。

4. Webブラウザからのデータ確認 (閲覧とダウンロード)

■ ZERO本体とWindowsパソコンをクロスケーブルで1対1で繋ぐ

① ZERO本体とパソコンをLANケーブル (クロス) で接続します。

② パソコン側のIPアドレスを下記のように変更します。

IPアドレス 192.168.1.241
サブネットマスク 255.255.255.0



※参考：ZEROの初期設定値は次の通り

IPアドレス 192.168.1.240
サブネットマスク 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ 192.168.1.1
DNSサーバー (空欄)

このIPアドレス設定は、ZERO側の出荷時設定値を使った例です。
異なるIPアドレスでの接続も可能です。

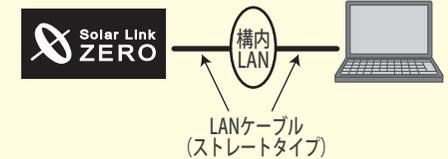
③ Internet Explorerを起動し、アドレスバーに「http://192.168.1.240/」と入力すると、ZEROのWebアプリケーション画面を確認できます。

■ 構内LAN経由でWindowsパソコンから閲覧する

① 設置場所のネットワーク管理者に相談し、ZERO本体に割り振るIPアドレスやネットワーク情報を取得してください。

ネットワーク情報

IPアドレス (必須) 例: 192.168.1.240
サブネットマスク (必須) 例: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ (任意) 例: 192.168.1.1
DNSサーバー (任意)

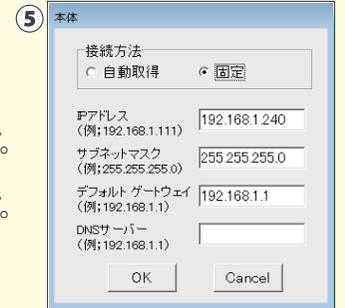


② ZERO本体を停止・終了し、ZERO本体から専用USBメモリを抜き、Windowsパソコンに挿入します。※ZERO本体を終了する前に、専用USBメモリを取り外さないで下さい。

③ 専用USBメモリ内の【conf】または【conf.exe】プログラムをダブルクリックして、「設定」画面を表示させます。



④ 【ネットワーク設定】メニューの【本体】をクリックします。



⑤ ネットワーク情報を設定し【OK】をクリックして画面を閉じます。

⑥ 【ファイル】メニューの【終了】を選び設定プログラムを終了します。

⑦ パソコンから専用USBメモリを抜き、ZERO本体に挿入します。

⑧ ZERO本体と構内LANにつながるHUB等とをLANケーブル (ストレート) で接続し、ZEROを起動します。

⑨ 構内LANに接続されているWindowsパソコンのInternet Explorerを起動し、アドレスバーに「http://[設定したIPアドレス]/」と入力すると、ZEROのWebアプリケーション画面を確認できます。

■ ZEROのWebアプリケーションでできること

(詳細は「Webアプリケーション取扱説明書」を参照)

- ◇ 現在の計測データの表示 (P.4)
- ◇ 過去の計測データの確認 (P.6)
- ◇ 計測データのダウンロード (P.6)
- ◇ 画面の変更 (P.7)